

令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和3年7月9日
-------	---------------	--------	----------	-----	----------

施設名称	奥州市埋蔵文化財調査センター	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	埋蔵文化財を調査研究し、その資料の保管及び公開を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	研修室・収蔵庫・保管室・研究室・展示室・整理室等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市埋蔵文化財調査センター観覧者等	11,022	9,138	4,915	1,834	37.3	
(計)	11,022	9,138	4,915	1,834	37.3		
〔利用者の増減理由〕 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月18日(土)～5月11日(月)まで臨時休館 R1実績には、あやめ祭り入場者数も含まれる(R2年度は中止)							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	35,221,000		35,221,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	209,300		209,300		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		248,100	248,100		その他		その他		
	雑収入	323,806	116,518	440,324						
	計	35,754,106	364,618	36,118,724		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	23,346,588		23,346,588	歳出 ※経常的	指定管理料	35,221,000	人件費	8,689,602
		需用費	3,765,280	280,285	4,045,565		委託料		委託料	10,389,000
		役務費	310,795	22,792	333,587		需用費		需用費	25,070,466
		委託料	4,899,560		4,899,560		その他		その他	
		使用料・賃借料	1,042,577		1,042,577		計(B)	35,221,000	計(B)	44,149,068
租税公課		2,344,306	2,068	2,346,374	支出(B-A)		35,221,000	支出(B-A)	44,149,068	
その他諸費		45,000	47,227	92,227	維持修繕費		619,300	維持修繕費	1,791,300	
計	35,754,106	352,372	36,106,478	歳出 ※臨時的	備品購入費		備品購入費			
					計(C)	619,300	計(C)	1,791,300		
損益	0	12,246	12,246	支出(B+C-A)	35,840,300	支出(B+C-A)	45,940,368			

職員配置	常勤職員	5人	市の正職員	1人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	211,700	2,400	209,300

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	65.3%	R2年度指定管理者損益	12,246円	評価
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	19,204.5円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 8,928,068円			評価	
	経年劣化による少額施設修繕を見込み増額している状況が続いており、指定管理料は横ばいとなっている。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R2	R1		比較
		直営支出額	44,149,068	44,149,068		0
	市支出額	35,221,000	35,220,000	1,000		
	効果額	8,928,068	8,929,068	△1,000		

### 3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・センターの維持管理 ・観覧者の案内説明	○		4
自主事業	・鎮守府探訪講座2020（5回） ・体験学習会（5回） ・長編アニメーション「アテルイ」上映会 ・遺跡発掘調査報告会 ・出前講座（随時8回） ・体験学習受入（随時2回） ・博物館実習（随時2名）	○		

### 4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	必要な修繕が行われ、適切に維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により、適切に行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設所有（管理）者賠償責任保険、レクリエーション保険加入を確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	大雪による雪害被害を確認した。	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	概ね適正な管理であったと認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、親切、丁寧な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し、迅速かつ適切な対応が取られたことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	



令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和3年7月9日
-------	---------------	--------	----------	-----	----------

施設名称	胆沢城跡歴史公園	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)	新規・継続の別	新規
施設設置目的	奥州市の歴史遺産としての遺跡等を保存し、市民の文化活動の場に供することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	築地(再現)、外郭南門跡や柱跡を設置。AR・VRで復元映像。	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	タブレット利用人数			457	153	33.5	
ヘッドマウントディスプレイ利用人数			176	318	180.7		
現地案内状況			727	234	32.2		
(計)		0	0	1,360	705	51.8	
〔利用者の増減理由〕 令和2年度から新たに指定管理としたもの。(令和1年度は委託)※R1利用実績(人)は委託業務の実績 新型コロナウイルス感染症対策のため、4月18日(土)～5月11日(月)まで臨時休館							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(R1年度)			
収入	指定管理料	6,913,000		6,913,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入	106,097		106,097						
	計	7,019,097	0	7,019,097		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	6,138,331		6,138,331	歳出 ※経常的	指定管理料	6,913,000	人件費	
		需用費	107,315		107,315		委託料	1,878,800	委託料	12,014,821
		役務費			0		需用費	24,023	需用費	20,402
		委託料			0		その他	293,040	その他	218,448
		使用料・賃借料	169,590		169,590	計(B)	9,108,863	計(B)	12,253,671	
租税公課		603,861		603,861	支出(B-A)	9,108,863	支出(B-A)	12,253,671		
その他諸費				0	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費	33,000	
計	7,019,097	0	7,019,097	備品購入費			備品購入費			
損益	0	0	0	計(C)	0	計(C)	33,000			
支出(B+C-A)					9,108,863	支出(B+C-A) 12,286,671				

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	1人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	0
------------------	---------	-------	------	---

指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	87.5%	R2年度 指定管理者損益	0円	評価
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	9,805.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 3,144,808円			評価	
	令和1年度に新設した施設であり、令和2年度より新たに管理施設としたもの。委託料から指定管理料へとしたため、効果額での単純評価はできないことから、3の評価した。	〔行革効果額の積算根拠〕				
			R2	R1		比較
		直営支出額	12,253,671	12,253,671		0
市支出額	9,108,863	12,253,671	△ 3,144,808			
効果額	3,144,808	0	3,144,808	3		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・維持管理業務 ・案内業務	○		3
自主事業	・段ボール甲冑着付け体験	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
①施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切な維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	Wi-Fi接続状況の確認が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	サイン等の清掃が行われていた。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入		市の損害賠償保険で対応		△
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	大雪による雪害被害を確認した。		△
②サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	概ね適正な管理であったと認められる。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報を活用して周知を図ったことを認めた。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、親切、丁寧な対応を確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し、迅速かつ適切な対応が取られたことを確認した。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	段ボール甲冑着付け体験を実施した。	年1回(1日)の実施に止まった。		△
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。			○
③危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき適切に実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施		消防設備がないため。		△
	警備業務の実施(機械警備含む)	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。			○
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。			○
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。(埋蔵文化財調査センターと同一)			○
	避難(救助)訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。(埋蔵文化財調査センターと同時実施)			○

5 利用者評価

利用者評価	実施の有無	有		評価
	利用者アンケート	調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の感想調査</li> <li>・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった)</li> <li>※埋蔵文化財調査センターのアンケートと同一</li> </ul>	
		調査結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からの感想を的確に捉え、サービス向上につなげている。</li> </ul>	
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来園者への丁寧な対応とわかりやすい解説</li> </ul>	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・VRの内容に不足あり</li> </ul>	3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者として、善良かつ適切な施設管理を実施するとともに、観覧者に対し、親切丁寧な対応を行っており来館者から好評である。</li> <li>・胆沢城跡を起点として地域づくりの中心となる施設として、住民の期待に応えるよう取り組んでいる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり利用者の減少はやむを得ないが、施設の利用促進を積極的に図ると共に、魅力ある自主事業を実施することは十分でなく次年度に向けての改善が求められる。</li> </ul>		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)			

## 令和2年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和3年7月5日
-------	---------------	--------	----------	-----	----------

  

施設名称	衣川歴史ふれあい館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市観光物産協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日（1年間）	新規・継続の別	新規
施設設置目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚及び文化振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	展示室・資料室・研修室・収蔵庫等		

  

### 1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	前年対比(%)	評価
		衣川歴史ふれあい館施設利用者数	2,808	3,462	3,398	1,011	
	(計)	2,808	3,462	3,398	1,011	29.8	
	〔利用者の増減理由〕 コロナウイルス感染症による観光客減少の影響を受け来館者数が激減したため。						2

  

### 2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R2年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R2年度決算額		市直営決算(H17年度)			
事業収支 (単位：円)	収入	指定管理料	3,900,000		3,900,000	歳入	使用料		使用料	172,050
		利用料金	85,800		85,800		賃貸料		賃貸料	
		自主事業		158,000	158,000		その他		その他	
		雑収入	22,008		22,008					
		計	4,007,808	158,000	4,165,808		計(A)	0	計(A)	172,050
	支出	人件費	2,400,000		2,400,000	※経常的 歳出	指定管理料	3,900,000	人件費	2,370,672
		需用費	855,129		855,129		委託料		委託料	475,443
		役務費	117,850		117,850		需用費		需用費	774,375
		委託料	230,780		230,780		その他	205,000	その他	441,466
		使用料・賃借料	14,630		14,630		計(B)	4,105,000	計(B)	4,061,956
		租税公課	371,675		371,675	支出(B-A)	4,105,000	支出(B-A)	3,889,906	
		その他諸費		130,000	130,000	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費	84,000
							備品購入費		備品購入費	48,300
		計	3,990,064	130,000	4,120,064		計(C)	0	計(C)	132,300
損益	17,744	28,000	45,744	支出(B+C-A)	4,105,000		支出(B+C-A)	4,022,206		
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	(兼) 1人					
	非常勤職員	1人		市の臨時・非常勤職員	非常勤 3人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	85,800	0	85,800							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		60.1%		R2年度 指定管理者損益	45,744円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		3,857.6円		事業目的に適合しない支出等の有無	なし		2		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 215,094円		評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直営当時(H21年度)は正職員(兼務)1名と非常勤職員3名を配置していたが、本制度の導入により兼務職員をなくすことができた。</li> <li>・公共料金の値上げにより導入以前に比して効果が減じたと考えられる。</li> <li>・看板を撤去したことにより土地借上料を減額できた。</li> </ul>			〔行革効果額の積算根拠〕						
					R2	R1	比較			
				直営支出額	3,889,906	3,889,906		0		
				市支出額	4,105,000	4,115,000		△ 10,000		
効果額	△ 215,094	△ 225,094		10,000						



### 3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・衣川歴史ふれあい館の維持管理	○		3
自主事業	・衣川清凜会との連携により歴史講談を開設した。 ・ヨガ教室や漆塗りなどの体験講座を自主的に開設した。	○		

### 4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に市への報告が行われ、維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員により適切に行われていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	自主事業は歴史出前講座、ヨガ教室、漆体験講座であるが賠償責任保険をかけていない旨の報告を受けた。	これらに適應する賠償保険が見当たらないとのこと。		△
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正であったと認められる。			○
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正であったと認められる。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市観光物産協会の情報誌、新聞等を活用して周知を図ったことを認めた。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、正確で確実な対応を確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施していた。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき適切に実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練と講習会の実施を確認した。	○		



5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	来館者の接客時に聞き取り、日報に記載。 ・どこから来訪したのか。 ・来訪の目的、安倍氏の歴史に興味があるか。 ・何で当館を知ったのか。	
		調査結果	来館者：北は青森から南は広島までで大半が40～60代となっていた。新型コロナウイルス感染症の影響もあり来館されるお客様は前年度に比べ3割弱まで少なくなった。 地域別では、県内が一番多いのはもちろん、東北6県で特に宮城県からの来館者が多かった。 来訪目的： ・ホームページを閲覧して行きたくなった。 ・また解説を聞きたくなった（2回目以降のお客様） ・歴史講談の定期上演 当館を知ったきっかけ： ・安倍氏に関する資料をネット検索していたらホームページを見つけた ・Facebookから ・他施設（平泉文化遺産センター）からのご案内	
	要望・苦情等	良好とする評価	ご希望される来館者には解説案内を実施している。 学校の歴史授業では詳細を教わっていないお客様が多いため、安倍氏・清原氏・藤原氏の関係や中尊寺建立のきっかけを説明。「分かりやすく面白かった」「来てよかった」との好評をいただいた。	
	苦情・改善要望等	・来館記念になるスタンプの作成を要望。 ・歴史に興味がない人、または歴史に興味があるが展示物に物足りなさを感じた場合は5～10分程度で帰ってしまう。		

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され、一定の行革効果があった。</li> <li>・施設の特性を活かした自主事業（歴史講談、漆塗体験講座等）を積極的に行い、市の歴史等に係る知識習得に有効であった。</li> <li>・概ね指定管理者として、善良な施設管理を行い、観覧者に対しても親切で丁寧な対応を行った。</li> </ul>	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	31年度は消費税356千円の支払となったが、自主事業の売上、経費削減で130千円の収益となった。引き続き、損益のバランスがとれる施設運営をめざす。	令和2年度は新型コロナウイルスの影響で来館者の減少やイベントの中止が相次ぎ売上が減少となった。また、消費税369千円の支払いとなったが、経費削減で45千円の収益となった。	Afterコロナ、Withコロナに沿った対策を実施したイベントを企画して、収益向上を目指しながら損益のバランスがとれる施設運営をめざす。